

目次

研究の概要	1
第1章 人口減少社会の現状	2
第1節 展望	2
1 将来推計人口の概要	2
2 将来推計人口（年齢3区分別）中位推計の概要	2
第2節 分析	3
1 生産年齢人口の減少から労働力人口の減少へ	3
2 高齢従属人口指数の上昇	3
第3節 社会経済への影響	4
1 「人口減少社会」の影響	4
2 「長寿命化」による「高齢社会」の影響	4
3 「ミクロ（地域）」への影響	4
第2章 事例研究	5
第1節 垂水市漁業協同組合の事例	5
1 垂水市漁業協同組合の活動について	5
2 垂水市の状況	5
3 カンパチ養殖の状況	5
4 垂水漁業協同組合の取組み	6
5 垂水市（行政）の関わり	7
6 現在直面している課題	7
7 課題への対処、今後の展開等	7
8 評価・感想	7
第2節 柳谷町内会（やねだん）の事例	8
1 柳谷町内会（やねだん）の概要について	8
2 鹿屋市の人口動向	8
3 柳谷町内会（やねだん）の人口推移の状況	8
4 柳谷町内会（やねだん）の活動について〔経済活動〕	8
5 柳谷町内会（やねだん）の活動について〔経済活動以外〕	9
6 柳谷町内会（やねだん）への鹿屋市（行政）の関わり	9
7 柳谷町内会（やねだん）の現在直面している課題	10
8 評価・感想	10
第3節 大馬越地区コミュニティ協議会の事例	10
1 大馬越地区コミュニティ協議会の活動について	10
2 薩摩川内市の状況	10
3 大馬越地区コミュニティ協議会のしそジュース製造・販売活動について	11
4 薩摩川内市（行政）の関わり	12
5 「地区コミュニティ協議会制度」と「しそっぶ物語」	12
6 課題	12
7 評価・感想	12
第3章 地域・産業の活性化に向けた取組みの評価と将来に向けた課題	13
第1節 現地調査事例の評価	13
1 地域資源の発掘・活用	13
2 事業推進体制	13
3 商品の高付加価値化	13
4 販売戦略	13
5 その他	13
第2節 他の先進的な取組みとその評価について	15
第3節 地域・産業活性化の成功に必要な要素の分析	17
第4節 将来に向けた課題	18
1 人口減少社会の進展により地域が直面する課題	19
2 人口減少社会に向けた対策の状況	20
第4章 政策提案（将来に向けた取組み）	21
第1節 提案政策の体型	21
第2節 個別の提案事業	23
1 担い手の確保（長期的視点に立った対策）	23
2 次世代リーダーの育成	25
3 消費の量的開拓、質的開拓（ブランド力の強化）	26
おわりに	30

## 研究の概要

### 人口減少社会の現状

- 人口総数の減少
  - ・生産年齢人口の減少 → 労働力人口の減少
- 高齢社会
- 都市部もまぬがれ得ない。

少子化対策等の効果はすぐに表れるものではない。  
→人口減少社会の現実を受け入れざるを得ない。

### 事例研究（地域・産業の活性化に向けた取組みの評価と将来に向けた課題抽出）

地域振興・地域再生で評価を受けている事例

現地調査事例	鹿児島県垂水市／ 垂水市漁業協同組合 [特産]カンパチ	鹿児島県鹿屋市／ 柳谷町内会 [特産]オリジナル焼酎	鹿児島県薩摩川内市／ 大馬越地区コミュニティ協議会 [特産]しそジュース
その他事例	高知県馬路村 [特産]ゆず	徳島県上勝町 [特産]つまもの	宮崎県都農町 [特産]ワイン

#### 成功に必要な要素の分析

- ①取組みの原動力となるキーマンの存在
- ②地域資源発掘、活用のための独創的な視点
- ③6次産業化
- ④商品及び製造者自身のブランド化
- ⑤消費者ニーズへの的確・迅速な対応
- ⑥周辺施設等の活用
- ⑦行政による支援

……これらは、あくまでも現時点の評価

人口減少社会の進展により発生する事実

- ・労働力人口の減少
- ・消費者の減少

人口減少社会への対応は、十分になされているとは言い難い。

**地域・産業の活性化を  
持続可能なものにするために何が必要か？**

### 政策提案

#### 1 労働力人口の減少対策

担い手の確保（長期視点に立った対策）		次世代リーダーの育成
【提案事業①】 地域の商業、農業、工業高校等との実践的体験交流事業	【提案事業②】 アントレスピリッツ育成事業	【提案事業③】 地域金融機関と連携した次世代リーダー育成事業

#### 2 消費者の減少対策

消費の量的開拓、質的開拓（ブランド力の強化）		
【提案事業④】 シニアトレンドアドバイザー事業	【提案事業⑤】 〇〇県お墨付きブランド認定事業	【提案事業⑥】 ふるさとブランド販売推進事業